

インタ 私のLA

ロサンゼルスで活
企業の皆さんの、企
姿と、オフの素顔を



東京海上日動火災保険株式会社米国支店
部長兼ロサンゼルス支店長
み き しん ぎ ち

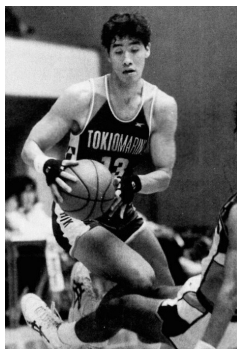
三木晋吉さん

生まれ故郷のLAで 地域・社会に貢献します

1965年、ロサンゼルス生まれ。87年早稲田大学
卒業、東京海上火災保険株式会社入社。2003年よ
り、米国シンシナティ支店長。08年よりロサンゼ
ルス支店長。

東京海上に入社し 仕事とバスケットボールを両立

中学校3年の時にはすでに193cmあり、東京都で一番大きな中学生でした。身体も大きいので、何か本格的に運動をしようと思っていたところ、高校に入学して最初に勧誘されたのがバスケットボール部でした。それでバスケットを始めて、大学も体育会バスケット部に所属。東京海上でも日本リーグでバスケットを続けました。とは言っても、仕事はフルにやり、バスケットの練習は水曜と金曜の夜、土日は日本リーグの試合に遠征に出るという感じでした。もちろん忙しかったですが、仕事もバスケットもきっちり両立するのがプライドみたいなものでした。



東京海上の選手として日本リーグで活躍。写真は、1993年、27歳の頃

丸9年の選手生活を引退した直後にフィリピン駐在になりました。実はフィリピンはアメリカの次にバスケットが盛んな国。さすがにプロチームに入りはしませんでした。駐

在中は、プロチームの練習に参加していました。2001年に日本に帰国。その頃、景気の低下に伴い、日本の企業スポーツは下火になり、人が集まらずに大変だということで、日本リーグに再登録。残念ながらケガをしてすぐに引退しましたが、37歳は当時日本リーグの選手として最年長でした。

03年にオハイオ州シンシナティに駐在に。5年が過ぎて日本に帰国かと思ったら、生まれ故郷のロサンゼルスに赴任となった次第です。戻って来てみると、かつて住んでいた家がまだ残っていたり、また日本リーグの相手チームの選手や監督が駐在で来ていたり、面白い具合に自分の生まれ故郷に帰ってきて、色んな人に再会でき、「縁」を感じています。またロサンゼルスに戻ってからは、シンシナティでは止めていたバスケットを再開。日系人のバスケットボールリーグで週1回プレーし、子供たちにも教えています。

本業とJBAを通して 地域・社会に貢献

弊社ロサンゼルス支店は、全米の最大拠点です。保険業界はある意味装置産業であり、契約のお引き受け、事故が起きた場合の査定対応、お客様の事故を軽減するためのロスコントロール活動等に多くのリソー

スを必要とします。つまり高品質のサービスを実現するためには、自前である程度の規模を確保することが必要です。それに本気で取り組もうと、弊社は5年前、1年前に米国保険会社の買収を実施しました。買収によってサービスや生命保険を始めとする新商品を充実させ、東京海上グループ全体で総合リスクマネジメントを提供し、お客様のお役に立ちたいと思っています。

昨年、米国支店は設立100周年を迎えました。特にこのカリフォルニアでは、何十年にわたる日系代理店さんとの付き合いを通じて、日系人の方々との長い関わりがあります。そういう意味では、単に保険を売るのではなく、社会貢献、地域貢献もしていきたい。その一つが、JBAです。企業1社だとなかなか色々なことをしていくのは難しいですが、JBAを通して、弊社としてもやりたかった地域活動に組織的に取り組むことができます。多様な保険やサービスを充実させて、日系企業の進出・発展を支えていくだけでなく、地域・社会への貢献活動も続けていけたらと思っています。

COMPANY INFO

東京海上日動火災保険株式会社©1879年創業。海上保険、火災保険、賠償責任保険を軸に業務を拡大。近年はM&Aにより収入保険料ベースで全米ベスト10に。2012年には米国進出100周年を迎えた。